様式２

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	225・自由社	第１・２・３学年 歴史的分野	歴史・737	中学社会　新しい歴史教科書
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 小学校で学習した歴史上の人物についてカードや伝記にまとめたり、身近な地域の歴史の調べ方のポイントを基に調べ学習の結果を発表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 世界の古代文明についてそれぞれの特徴を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々生活の変化の様子をまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 平氏の政治と摂関政治を比較して共通点について整理したり、室町時代の文化財を取り上げ、そこから分かる室町文化の特色を説明したりする活動によって、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 織田信長と豊臣秀吉が行った改革や政策を発表したり、化政文化の特徴を大衆が広く様々な情報を受け取った手段を視点として説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について問題点をまとめたり、ベルサイユ条約による第一次世界大戦後の処理の問題点を説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 高度経済成長について指定されたキーワードを入れて説明したり、共産主義が崩壊した理由と冷戦終結の過程について説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 「章のまとめ」において、時代の特色を「ひとこと」作文にまとめたり、それぞれの時代の特徴的な出来事の背景等についての意見交換をしたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○　内容の分量 「歴史のとらえ方」は 18 ページ、「古代までの日本」は 56 ページ、「中世の日本」は 28 ページ、「近世の日本」は 44 ページ、「近代の日本と世界」は 98 ページ、「現代の日本と世界」は 29 ページであり、総ページ数は 273 ページで、前回より約 4%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「松前藩とアイヌの人々との交易の儀式を復元した模型の写真を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「歴史を学んで」において、学習方法を提示したり、「もっと知りたい」において、単元の学習を深める課題を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、朝鮮、中国の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の伝統的工芸品」、巻末に「年号と西暦の早見表」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 6 箇所、北方領土について 7 ページが取り上げられている。 ○　歴史の基礎知識を身に付けるとともに、歴史へのより高いレベルの知的関心に対応できるよう構成されている。 ○　我が国と郷土を愛する態度の育成に資することを目指し、読書に親しみ、国語を正しく使用する基礎的能力を養うことに配慮されている。			